



おおさきかみじま  
議会だより

初春

新年のあいさつ	2
12月定例会	3
7議員が一般質問	4～11
委員会報告	12～13
あれから・編集後記	14

令和2年12月定例会  
第71号/2021年1月8日

# 新年のごあいさつ



新年あけましておめでとーございませう。

町民の皆様方には日頃から議会活動に對しご理解とご協力を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界中が新型コロナウイルス感染症対策に追われ、私たちの生活も規制・自粛を強いられ、今までに味わったことのない生活を体験してきました。

教育では、文部科学省が令和5年度をめぐりに義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習者用パソコンと、高速ネットワーク環境の整備をするGIGAスクール構想を打ち進めています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度内へと前倒しすることとなりました。子どもたち一人ひとりの個性に合わせた教育の実現と、教職員の業務改善を支援するねらいがあります。将来を担う人材を育成する「教育の島」として、町行政と共に教育の環境整備に努めてまいります。

地域経済については、地域の現状に即した新型コロナウイルス感染症対策による支援事業により、町民の生活と町内産業・企業を元

気にする手立てを行っていくことが重要で、町行政と共に、さらなる財源確保に向けた取り組みを進めてまいります。

すでに「広報おさきかみじま」9月号で掲載されましたが、中国電力が電源開発（Jパワー東京）と共同出資している大崎クールジェンの石炭火力発電所（向山区）で進めている二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の有効活用に向けた5事業が、新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO）の公募事業に採択されました。今後は今まで以上に、回収CO<sub>2</sub>有効活用事業が進んでいくと思われませう。

「住んで良かった、住み続けたいと思えるような魅力ある町づくり」の推進に、大崎上島町議会として努力していく所存でございます。本年もご理解ご協力をお願い申し上げます。とともに、この一年が皆様方にとって実り多い年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

大崎上島町議会議長

信谷 俊樹

# 第4回定例会(12月議会)

## 決まった主なこと

- ・大崎上島町議会議員及び大崎上島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例
- ・大崎上島町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・大崎上島町介護保険条例及び大崎上島町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- ・大崎上島町東野スポーツ広場条例の一部を改正する条例
- ・令和2年度大崎上島町一般会計補正予算(第9号)
- ・令和2年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) 他2特別会計 など

## 第4回臨時会(10月28日)

- ・令和2年度大崎上島町一般会計補正予算(第7号)

## 第5回臨時会(11月30日)

- ・令和2年度大崎上島町一般会計補正予算(第8号)
- ・令和2年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 他5特別会計 など

# 一般質問

## 町政を問う

7人の議員が15項目を質問



もりわか 森若 議員  
いわた 巖

### 質問【森若議員】

令和2年第一回の定例会においてこの事業の説明があった。20戸を計画し町が要望した条件をクリアした25㎡以上のものについて一戸あたり300万円を助成するとあるが、今現在この事業はどのような状態なのか。住宅新築改修事業、危険建物除去促進事業には最大30万円の助成金が支給されるが、条件として町内業者に限るとの一文がある。この民間賃貸住宅補助事業にも適用されるのか。

### 答弁【建設課長】

今現在11戸建設中で、6戸の交付申請が出ており、施工業者については町内業者に限定していない。

## 問

### 民間賃貸住宅建設補助金事業の中身は

## 答

### 施工業者を町内業者に限定していない

### 再質問【森若議員】

どのような理由で限定していないのか。〇電気店が6戸の交付申請をし、図面も他の申請者において作成された図面をそのまま利用するとの事。施工業者は町外業者か。この事業には町民の税金（公金）も入っている事業だと思うが。

町内の業者が行えば回り回って税金として町に返って来る。町外の業者に委ねるとお金は島外に出ていく。町内の業者に限るとの縛りが入らなかったのは、申請者が町長や議員と同級生のために入れなかったのではないか。これでは黒いカラスを白いカラスと言ってもいいように、町で決めた事は自由に変更出来るのか。要綱という物は無断で自由

### 再答弁【建設課長】

に変更出来るのか。30万円の助成で縛りがあり300万円ではない。理解できない。この責任の所在は担当課長にあるのか、町の最高責任者である町長にあるのか。

要綱は担当課長一人で変更できない。町長にも伺いをたてる。

今後、要綱を変更する時は常任委員会で議論する。



町外業者で建設中

**問**  
監理業務費の記載がないのに一括で随意契約は可能か

**答**  
可能である

**質問【森若議員】**

平成29年4月から令和2年3月までに随意契約の件数が46件で、44件を当初予算概算金額資料作成を委託したK構造研究所と契約を締結。当初予算概算金額資料作成委託費は0円と言っても、形を変えてK構造研究所に委託料を支払っているのと同じではないのか。随意契約金額も令和元年度の場合、当初予算概算金額資料作成委託費イコール随意契約金額になっている。また、設計費用の見積りはあるが、監理業務費の記載がない事業も何点かある。K構造研究所と監理業務費を含んだ金額で随意契約を締結する事は可能なのか。

**答弁【総務企画課長】**

契約自体は出来ると考えている。

**再質問【森若議員】**

本当か。設計業務費プラス管理業務費の記載がある場合は一括契約出来る。しかし、管理業務費の記載がない場合でも本当に一括随意契約は出来るのか。

**再答弁【総務企画課長】**

その場合は出来ない。

**再々質問【森若議員】**

どのような理由でK構造研究所と随意契約出来たのか不思議である。



**問**  
上豊広線の工事中断は

**答**  
令和3年度から事業を再開する予定

**質問【森若議員】**

平成30年度当初予算書には委託費940万円を計上し、工事を計画しているが今現在何の動きも見られない。平成31年度の当初予算書を見ると事業中断とあるが理由は。

**答弁【建設課長】**

平成31年度3月に測量設計は完了しているが、用地計画図作成、物件補償調査算定が出来ていないため。令和4年度には本工事にかかる予定。

**問**

徴収する対価を支払わない概算見積作成依頼をいつ頃から行っていたのか

**答**

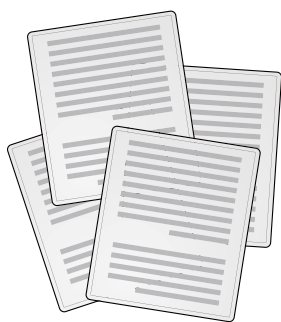
合併前の旧町から

**質問【森若議員】**

当初概算予算金額資料作成委託費を0円で委託する変な方法は、3町が合併した時からか。それ以降の町政になってからか。

**答弁【総務企画課長】**

旧町の時代からと理解している。



**議会傍聴**をしてみませんか。

次回の定例会は**2月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

### お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。



上青木 至 議員

**問**  
条例にない料金  
徴収しているが

**答**  
弁護士と協議し  
改善する

**質問【上青木議員】**  
「大崎上島町シーカヤック艇庫の設置及び管理に関する条例」にない個人所有艇の保管料や水道使用料金の徴収を行っている。以前の一般質問で過剰料金徴収があり、今後について確認したところ、今後ないよう適切な指導をするとの答弁があったが、どのような指導をしたのか。昨年は無断で倉庫やピザ窯を勝手に設置しやりたい放題。利用者とのトラブルも何度かあった。まずは完全に撤去すべきではないか。

町のうわさ話では、町長と業者が同級生だから何をやっても許されるとも言われている。

**答弁【地域経営課長】**

口頭で指導したが、文書による警告及び指導は行っていない。  
私物のコンテナ、サップ



無許可建物

倉庫、ピザ窯、キャンピングカー等の問題は口頭での報告が多く、設置後の事後報告もあったが、町も適正な指導をしておらず曖昧な対応となった。

顧問弁護士から、許可申請や事業計画書を町に提出、審査し許可を受けるように言われた。指導に従わない場合は取消し等の処分を検討する。

**答弁【町長】**

そういう話があるとする  
と大変不本意である。適切  
な処理をするよう指示して  
いる。

**問**  
野良猫対策は

**答**  
県の地域猫ガイド  
ライン沿って活動

**質問【上青木議員】**

町は野良猫対策として、  
回覧で野良猫に無責任な餌  
やりをしないように周知し  
ている。地域猫の取組をし  
ている団体との話し合いは

**問**  
親水公園浚渫  
工事は

**答**  
予算の範囲内で  
対応

**質問【上青木議員】**

笹ヶ浜親水公園浚渫工事  
は契約では浚渫土が運搬、  
搬入できないので、設計変  
更の対象すると聞いたが  
事実なのか。変更契約を行  
う場合、概算で金額は幾ら  
か。ヘドロについては計算  
しているのか。予定量を  
オーバーしないのか。

**答弁【地域経営課長】**

深さ1mの予定をブロッ  
クの壁が崩れるので深さ60  
cmに変更。当初設計では浚  
渫土は水分を多く含むため、  
長島の町有地に仮置きし、  
大串地区の県道再生改良事  
業に搬入し処分する。

契約変更は県との協議も  
必要で、予算の範囲内で対  
応する予定。

**再質問【上青木議員】**

工事は業者が入札前に役場に問い合わせた質問書に対する回答とは明らかに異なるが、入札を行った。条件が合わないから応じなかった業者もいるのではないか。入札のやり直しをするべきでは。ヘドロや汚泥など、通常の建設残土ではないものは大串の干拓地に搬入できないのでは。

**再答弁【地域経営課長】**

セメント改良の質問があり、セメント改良は考えていないと回答している。セメント改良をするとは産業廃棄物となり、工事を進めていく過程での内容変更となるので、再入札といった案件にはならないと考えている。

長島に運搬して乾燥してみないと分からない問題だが、県道再生事業の処分場として利用したい。

**答弁【建設課長】**

補助金を受けていないから設計委託料等を削減し、その分工事費に回したいという担当課の意向から、工期もかかり不手際もあるが理解されたい。

**再々々質問【上青木議員】**

造成工事の際、業者が同じ天下り企業なのは単なる偶然か。

**答弁【町長】**

役場のOBが就職した会社が請け負っていることは全く問題ない。



**問**

学校給食センターの一元化を

**答**

安心・安全を前提に調査研究を進める

**質問【道林議員】**



どうりん きよたか 道林 清隆 議員

現在、町立学校の学校給食は給食センター1施設、学内の調理場2施設でそれぞれ調理され提供されている。スタッフは栄養士、調理員など主には会計年度任用職員による運営となっている。最近では調理員の募集に苦慮しているのではないか。3施設が提供する給食コストも差が大きくなっている。人口の過疎高齢化が進む当町は、今後人材確保が困難になることが予想される。会計年度任用職員に頼るばかりでなく、将来的には常勤職員による運営を目指すべきではないか。

国、地方共に財政状況が厳しくなることが予測される中、公共施設の統廃合は

避けて通れない。給食センター一元化に関する当局の考えを伺う。

**答弁【教育課長】**

本町には学校給食調理場が3施設あり、調理方式は東野小学校と木江小学校の

学校敷地内にある自校方式と大崎学校給食センターによるセンター方式の2通りがある。自校方式とセンター方式それぞれにメリットデメリットがある。

当面は現状の調理方式を





かんた だいすけ  
閑田 大祐 議員

## 問 駐車場の利便性向上を

### 答 竹原市と連携する

竹原港駐車場の有料化により、大きな変化が生じた。駐車マナーの改善などメリットもあつたが、島民にとつては料金が発生することになり、また駐車台数が減少するなどデメリットも目立つように思う。竹原市が実施した事業であり、町としては介入できないが、町としての駐車場を借り上げる構想などもあつたと思う。それらがどうなったのか伺う。

### 答弁（副町長）

竹原港駐車場の整備については、駐車場の収容可能容量を超えた利用により駐車スペース

以外への駐車や他車両の移動が困難となるような無秩序な駐車、また不法放棄車両等があり、管理者として竹原市が竹原港北崎地区の駐車場をより適正に管理していくことを目的に整備した。

町としての駐車場借り上げの構想については、当初竹原市から示された整備後の市営月極め駐車可能台数が70台と整備前の駐車台数と大きく乖離していたため、町民利用者の方などの利便性の確保を図ることを目的に、町が港近くの土地を借り上げ、駐車場を運営することについて検討を進めていたがその後、市営月極め駐車台数が123台へと53台増とされたこと、また民間の月極め駐車台数についても増が図られたことなどから一時中断している。また、竹原

市との協議において、現在民間駐車場に余裕があるが、今後民間駐車場に不足を生じる状況となった場合は、新たな市営駐車場の整備を検討するとの回答を得ており、当面は今後の動向を注視し、状況の変化に応じて速やかに竹原市に対し申入れ、協議を行いたいと考えている。

### 再質問（閑田議員）

市営駐車場の新たな整備も検討するということや民間の駐車場等もあるということだが、これらの周知方法は周知が適切に行われないと利便性の向上にはつながらないが、

### 再答弁（副町長）

待合所や切符売場に問い合わせ先を掲示するなど、周知ができるように竹原市と連携して進める。



みずはし なおゆき  
水橋 直行 議員

## 問 空き家対策協議会は

### 答 委員選定を進めている

今まで見えなかった部分が見えるようになり安心にもつながると思うがどうか。

### 答弁【建設課長】

協議会委員候補者案を基に承諾を得られるよう調整中。学識経験者委員は県内の大学教授と交渉しており、12月15日に直接会って委嘱を依頼する。

9月定例会で空き家対策については「今後、法に則り対応する。町の協議会を今年度中に設置する。」と答弁があつた。現在の状況は、生命、財産を守り安心・安全なまちづくりをする町の方針だが「空き家に関して町は何もしてくれん」と言う話を聞く。そうではないと思うが、条例に則り対応した結果として強制能力のない対応になる部分だと思ふ。実際に財産を奪われかねない、安全が守られない状態にある場合、お願いだけでは不満だと思ふ。法律改定で税金の控除がなくなる強制的な指導ができるようになった協議会を早く設置し、活動を町民にしっかりアピールすれば、

今後の対応については、空き家対策の実施に関する協議会を組織し、今までの住民からの情報も含め危険な建物等について所有者に関する情報調査、現地の立入調査を行う。危険度が高いにもかかわらず所有者の責任において撤去されないものについては特定空家と認定し、法の規定に基づき対応する。



# 問 みゆき休止の行方は

## 答 存続に向け協議中

### 質問【水橋議員】

みゆきの休止届が提出され、医療法人社団ひがしの会理事長名で令和2年12月末をもって休止すると文書が利用者や利用者家族宛てに発信されている。この文書が結果として、町に支援依頼した去何もしてくれないと取れる内容となっている。

総務福祉文教委員会が町長や担当課長から説明を受け、今後の対応について意見交換や要望等伝えしつかり議論し、みゆきに来てもよいと言ってくれている医師も見つかり、みゆきとの対話もよい方向に進んでおり、真摯

な対話ができていると聞いていたがこの内容に間違いがないか確認する。

また、今後の支援として民間企業に対して赤字全額負担とか医師を町が雇い、みゆきに派遣するとかの特別扱いは無理だとは思いますが利用者優先に考え、町で出来ることを明確に提示し、みゆき存続に向け早急な対応を求めます。

### 答弁【福祉課長】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように保健福祉の環境整備を推進している。

現在も支援策等について広島県と連携し継続協議中で、これまでの報告、説明内容に間違いはない。利用者が引き続き安心して生活できるように町として可能な

限り協力する。

現在働いている方の雇用の確保を含めたこれからの対応については、引き続き医師の確保について協力し、この先医師の配置を必要としない施設運営形態への転換について広島県と連携し、ひがしの会と協議を行い雇用の確保に努めます。

### 再質問【水橋議員】

湖山医療福祉グループのHP概要によると「利益だけを追求するのではなく、地域の方々と共に歩み」とか代表挨拶には「地域に寄り添い、地域に根差した施設運営をする」とある。今までもこれからもこれを目指し施設運営をしていると思う。そのグループ代表と町長で存続についてのトップ会談をしてほしいと要望をしているが、今は時期ではないとの回答で実現してない。早期解決のためにトップ会談で存続についての話し合いは必要と思うがどう考えるか。

### 答弁【町長】

大崎上島町のこれからの高齢者福祉がどうあるべきか県と短期的な構想、そして中・長期的な構想についてほぼ合意に達しており、その中でみゆきと協議を進めていく段階のため、現時点トップ同士で協議をすることは考えていない。最後の最後に話が収拾できなければ、トップと協議をするということも考える。

### 再質問【水橋議員】

話が決裂する前にお話ししたい。現時点3、364人の署名が集まった。みゆき存続についての嘆願書が町長宛に出ていると思う。この町民の半数に迫る数を見てわかるように利用者、待機者、雇用者を含め町民に最も注目されている問題だ。町の意志だけで決まる話ではないが、前向きな協議の結果、良い報告が聞けるよう期待する。



休止届取り下げ決定しました



前田 副議長  
前田 副議長

## 問 耕作放棄地の対策強化を

### 答 自然災害防止に努める

#### 質問【前田議員】

耕作放棄地による町民の生活に負の影響が及ぶことを憂慮する。降雨による土砂流出での水路や生活道の閉塞、民家及び宅地への土砂流入、雑木の成長で民家が危険にさらされている。放置すれば被害を引き起こし災害にもつながる。私は平成29年に一般質問で、土石流の発生元が特定できれば物件的妨害排除請求権による土砂排除を、危険箇所には同予防請求権で対策を請求すべきとしたが、答弁では「自然災害について請求は原則できない。予防も危険箇所の特定が困難。指導、お願いを

していく。」とのことだった。どのような指導、お願いをしてきたのか、今後の対策はどうかを伺う。

#### 答弁【建設課長】

樹木による影響は隣接者が対応すべき事項だが、隣接者が通知することが困難などの理由で、生活に影響があるものは町が樹木の適正管理の通知を行う。耕作放棄地対策は、農地利用最適化推進委員会による農地パトロールの実施、優良農地は農協と連携して若い担い手に紹介している。地形的問題、耕作者の事情から耕作放棄地の制限は困難で山林化が想定され、財政的利点のある治山事業急傾斜地崩壊対策事業を活用して自然災害防止に努める。

#### 再質問【前田議員】

自分の所有地、建物に枝がかかる場合、切除を求めすることはできるが、勝手に切除できないのが民法上の決まりでは。緊急避難的に伐採可能と解釈する。また農地には防災機能もあるが、農地パトロール、農協との連携の内容を具体的に伺う。

#### 再答弁【建設課長】

民法ではそうだが、現実的な対応として生活者の不便にならないよう支援する。

#### 答弁【地域経営課長】

整備すれば園地になる不作付地が多い。山間部の急傾斜地は整備が難しいが、柑橘栽培適地は若い方に担ってもらえるよう農協とも協議し、指導していきたい。

#### 問

竹原〜大長航路の維持・存続を

#### 答

公共交通再編の検討が必要だ

#### 質問【前田議員】

この航路の恩恵にあずからない地域の方々には、4千万円ほどの公金を投入しての維持存続は、その点で意義があるのかという疑問は当然だろう。しかし、県からの特別交付税に織り込まれ、かなりの部分が賄われていると認識する。航路は一度休止すると復活は難しいし、海運は島の文化、歴史であり可能な限り守るものだと考える。町の考えを伺う。



#### 答弁【総務企画課長】

今年度の高速船の赤字欠損額はコロナ感染の影響もあり、5千万円前後と想定され、補正予算で追加計上の必要がある。航路維持は島民にとって必要との認識はしているが、少子・高齢化がすすむ現状では交通体系再編の検討が必要だと考える。特別交付税では算定の項目で8割を参入することにはなっている。



おじり やすじ  
尾尻 康二 議員

問

ごみ中継及びストックヤード施設の建設は

答

計画通り進捗している

答弁【保健衛生課長】

新ごみ処理施設「広島中央エコパーク」は令和3年10月1日からの稼働を予定し、整備を進めている。新中継施設建設工事も12月中旬に工事に着手し、完了は令和3年9月末の完成予定である。新中継施設建設工事後、令和3年12月末頃から現焼却施設の解体撤去工事を令和4年12月頃迄に行い、同工事完了後、令和6年3月末までにストックヤード施設の建設を行う予定で、現段階では計画通り進捗している。また、中継及びストックヤード施設の建設に当たり、地元行政区（大串区、瀬井区、原田区）と建設同意に係る協定を締結済みで、問題点等はない。

新中継施設建設に伴う町内業者の下請工事受注については、町、町議会が元業者に地元業者への下請発注を要望しており、現在、数社の地元業者が下請の打診を受けている。

【尾尻議員】

町の負担も大きい長期に亘る大型工事で、また、コロナ禍で島内経済も落ち込んでいることもあり、地元建設業者への下請工事等の受注の配慮を要望する。

問 カーボンリサイクル事業の進捗は

答 来年度以降、進捗する

質問【尾尻議員】

経済産業省が当町においてカーボンリサイクル事業の拠点化の整備を行う「CO2有効利用拠点化推進事業」と「2030年実用化に向けCO2有効利用に係る要素技術開発及び実証試験等を行う研究拠点におけるCO2有効利用技術開発実証事業」の2つの事業が本年度より開始されると聞いているが、拠点の開設は行われているのか。また、今後、どのように取り組まれるのか。

答弁【総務企画課長】

2つの事業の事業期間は本年度から5年間で実施されると聞いている。また、別に、研究開発における3事業を実施する計画で合計5事業が採択されている。現在、拠点施設の開設は行われていない。施設建設を行うための造成工事の着工は2021年4月以降となり、2022年度に完成すると聞いている。来年度以降、随時、各事業者が研究分野ごとに実証研究を開始する。国の中でも特に注目されている試験であり、本町も成果を期待している。

質問【尾尻議員】  
新ごみ処理施設「広島中央エコパーク」は来年度10月より稼働開始予定である。当町の大崎上島環境センターの現焼却場は解体され、跡地に資源ごみのストックヤード施設を建設する計画となっている。また、ごみ中継施設が建設され、ごみ収集車で新施設に搬入する計画となっている。この費用は各市町村が負担することとなっているが、現在の進捗状況と今後の予定、問題点等は。また、大型工事となるが、島内建設業者に下請工事等の受注が見込めるのか。

新ごみ処理施設「広島中央エコパーク」は令和3年10月1日からの稼働を予定し、整備を進めている。新中継施設建設工事も12月中旬に工事に着手し、完了は令和3年9月末の完成予定である。新中継施設建設工事後、令和3年12月末頃から現焼却施設の解体撤去工事を令和4年12月頃迄に行い、同工事完了後、令和6年3月末までにストックヤード施設の建設を行う予定



現在の環境センター

# 総務福祉文教常任委員会報告

委員長：閑田大祐 副委員長：渡辺年範  
委員：越田賢一 道林清隆  
前田 太 水橋直行

大崎上島町議会9月定例会以降に開催した、委員会での主要な調査、協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の審議について報告します。

## ○交通問題協議会

議員や町内各種団体の代表者などが集まり、町の公共交通の問題点等について議論する会議です。ここで意見を募り、協議会からの提言として大崎上島町交通連携協議会に諮ります。

交通連携協議会とは国や県の関係部署、交通事業者や交通問題に見識のある学者などが参加する会議で、交通問題協議会も住民の代表として参加していますが、その一連の手続きにおいて不備があり、事務局である総務企画課にこれを是正するように求めました。

## ○ひがしの会問題

医療法人社団ひがしの会が運営する介護老人保健施設みゆきから、年内で事業を休止するという申し出が

ありました。

令和元年6月末、医師の体調不良により7月から医師が不在となり、その後10月から新たな医師を採用、さらに今年6月からまた新たな医師を採用していましたが、8月にその医師が解雇となり、医師が不在の状態で運営されてきました。3月、老健みゆきから町に対して

- ・ 町による医師の採用
- ・ 運営補助金
- ・ 30床増床で100床に
- ・ 竹原市への増床移転
- ・ 特別養護老人ホームへの転換

などの要望が出されました。これに対し町は4月、

- ・ 町が採用した医師を派遣することは現状は出来ない
- ・ 運営費の補助は困難
- ・ 30床の増床は困難
- ・ 竹原市は老健が多く所在し、また市の財政的にも難しい(竹原市)
- ・ 特養への転換は新設とな

り、建物の構造上60床になる

と回答しました。

11月13日、広島県にみゆきの休止届を提出、利用者や家族、関係機関宛に文書にて「12月末のみゆきを休止する」と公表しました。町としては利用者やその

家族、そしてみゆきで働く100人もの住民のためにも事業を継続できるように交渉を続けていました。

12月14日、ひがしの会は休止届を取り下げ、引き続き運営することと将来を見据えて事業形態の転換も含めて今後も協議していくこととなっています。



# 産業建設常任委員会報告

委員長：尾尻康二 副委員長：森若 巖  
委員：上青木至 信谷俊樹  
浜田明利 浜田幸造

令和2年9月定例会以降の委員会報告を行います。各課から12月定例会及び臨時会で議案となる主な条例案、補正予算案、繰越事業の進捗状況などの説明を受けて審議をしました。

## ○木江東側定住促進住宅新築工事の締結

請負金額は9471万円、工期は令和3年9月30日で、請負者は(有)栄山建設です。

## ○民間賃貸住宅建設補助金

現在20戸(6000万円)中、17戸(5100万円)の交付申請が出ています。今後、年度内に完成できない案件が出てくることも予想されます。補助金の支出は年度内に終了することが財政法の原則ですが、建築工事は時間が必要であること、この補助金は令和2年度に新規に創設した補助金で周知不足もあったことから次年度への繰越明許を検討する必要がありますものと考えています。

## ○笹ヶ浜排水機場遊水池浚渫工事

堆積した土砂により笹ヶ浜排水機場の機能が低下しているため、堆積土砂1500m<sup>3</sup>を撤去する浚渫工事により機能回復を図るものです。工事契約額は709万円、契約者は中野建設(株)、工期は令和3年3月25日です。水分が多く含まれる土なので、運搬中に町道等を汚すことのないよう泥土改良剤の使用を検討しています。

## ○高収益作物次期作支援交付金事業の見直し

新型コロナウイルス感染症の発生により売上が減少する等の影響を受けた高収益作物(野菜・花き・果樹・茶等)について、次期作に前向きに取り組む生産者を支援する農林水産省の事業です。

交付金給付の見直しが行われ、対象面積が次期作の全交付面積から売上が減少した品目の作付面積に限定となりました。また、交付

額の上限が設定され、各農業者の減収額を超えない範囲となりました。また、運用見直し説明会では、国は追加措置として、農業者が交付金を見込んで先行投資した資材等は減収の有無にかかわらず支給する方向で検討すると説明しています。

## ○有害鳥獣対策(モデル地区)事業

有害鳥獣対策として有効とされている柵をモデル地区(本郷区)に設置し、被害が出ないことを実証します。住民主体で柵を設置し、管理する体制を作るものです。

本郷区のモデル地区内を3分割し、各担当者を設置し、対応策、被害状況を責任者の指示のもと管理しています。また、エリア内を見回り、日報等に記録しています。各責任者による会議を定期的開催し、被害状況や被害対策の情報を共有し、被害の減少に努めます。

## ○大崎上島町プレミアム付商品券発行事業

商品券は1万冊程度が販売され、飲食券は4千冊が完売しています。令和2年12月末が使用期限であり、期限後は、使用及び払い戻しが出来ないため、使用を急ぐよう周知を行いました。



大好評でした！

# 追跡 あれからどうなった

(平成30年12月定例会一般質問から)

## 質問

観光案内等の表示は

## 回答

英語表記の追加等を取り組む

## その後の経過

現在、新たに神峰山誘導案内看板を11か所設置し大串海水浴場やかもめ館等の案内も併設している。

また、平成31年度には沖浦物産館前の観光看板も新たに建替を行った。

しかし、既存の観光案内板に英語表記は困難な状況である。

今後は、観光パンフレットや観光案内看板を電子化し、サイクリングコースやイベント等とリンク出来る



案内板

様な情報を発信し、日本語表示だけでなく多言語化にも対応できる方向で観光協会と協議していく。

## 編集後記



新年、明けましておめでとうございます。今年も帰省者も少なく、少し寂しい正月を迎えられたのではないのでしょうか。

昨年は年初来、コロナに振り回された1年でした。世界中がパンニックになり、オリンピックの延期が決まるなか、日本は他国と比較して経済の落ち込みもコロナによる死者数も比較的上手に抑え込んでいたと思います。

町内では、3月からほぼすべての行事が中止となり、学校も休校になりました。飲食店や宿泊業では売り上げが激減し、マスクが店頭から消え、入荷日には早朝から行列ができるなど混乱が見られました。ワクチンも量産・出荷態勢に入り、少し希望も見えてきましたが、願わくば今年中に収束できるよう、期待しています。

(K)



## 大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

### 議会広報委員

委員長 閑田大祐  
副委員長 水橋直行  
委員 上青木至  
尾尻康二  
越田賢一

森若 巖